

ホソミオツネントンボ *Indlestes peregrinus*

節足動物門 昆虫綱 蜻蛉(トンボ)目 均翅亜目 アオイトンボ科



翅をたたんだ時、縁紋の様子が重なるのがホソミオツネントンボ。オツネントンボは、ずれる。

尾の先端でメスと識別

撮影地:千葉県白井市谷田(464号線南側)

撮影年月日:2006年2月22日

撮影・同定者:相馬なおみ

状況:“冬芽の観察会”で、印西の武西から雑木林に入る。手入れされた杉林で、すーっと飛ぶイトトンボ発見。スギの幹に尾を付けたり、あげたりを繰り返す。日中の温度が、15℃にもなった日。

近似種:オツネントンボ

指標:幼虫は、挺水植物や藻につかまって成長するため、湿地の滞水、池が必要で、成虫は採餌・越冬するために、隣接する林ややぶが必要となる。成虫は9~10ヶ月生存する。



生息環境
林 + 湿地

